

第5回
動物由来感染症研修会

0



日時： 2019年6月10日（月）～6月14日（金）

会場： 国立国際医療研究センター

国立感染症研究所

節足動物媒介感染症研修会

概要



■本プログラム設立の背景

2014年のデング熱の国内流行、2015年のジカ熱の中南米での流行、日本国内でのSFTSやダニ媒介性脳炎の報告を背景に、節足動物媒介感染症について幅広い知識や診療技術を有する医師を国内で育成することが急務である。

ウイルス性出血熱などの一類感染症、MERSなどの二類感染症も動物由来感染症であり、特に感染症指定医療機関に所属する感染症専門医はこれらの感染症について精通しておく必要がある。

■本プログラムの対象

動物由来感染症に興味があり、本研修の成果を地域に還元できる医師。

5年以上の内科、または小児科の診療経験を持つことが望ましい。

■学習ゴール

- ・ ジカ熱・デング熱・チクングニア熱をはじめとした蚊媒介性感染症の疫学・診断・治療・予防について説明できる
- ・ 末梢血塗抹鏡検法、迅速診断試薬を使って、マラリアを診断できる
- ・ ダニの生態を理解し、国内に常在するダニ媒介感染症の疫学・診断・治療・予防について説明できる
- ・ ワンヘルス・アプローチについて理解できる
- ・ 一類感染症、二類感染症の各疾患について概要を理解し自施設での対策に役立てられる

動物由来感染症研修会 プログラム

(予定)

0

	6/10 月	6/11 火	6/12 水	6/13 木	6/14 金
8:30-9:20	動物由来感染症 総論 (田村豊)	狂犬病 (倉井華子)	SFTS・ダニ脳炎 (西條政幸)	ケース カンファレンス	黄熱 (氏家無限)
9:30-10:20	アナプラズマ症 (大橋典男)	レプトスピラ症 (小泉信夫)	トキソプラズマ症 (永宗喜三郎)	MERS (馳亮太)	食品関連動物由来 感染症と疫学調査 (三崎貴子)
10:30-11:30	デング熱 疫学・微生物 学・診断 (高崎智彦)	殺虫剤・忌避剤 (アース製薬)	一類感染症 (加藤康幸)	リケッチア症 (安藤秀二)	トピック： コリネバクテリウ ム・ウルセランス 感染症 (岩城正昭)
11:30-12:20	鳥インフルエン ザ (川名昭彦)	フィールド ワーク ダニ採取 (川端寛樹)	日本脳炎 (多屋馨子)	チクングニア熱・ ジカ熱 (忽那賢志)	
13:30-17:00	フィールド ワーク 検疫所での蚊・ ネズミ調査 (梅田恭子)		マラリア 講義・実習 (狩野先生)	フィールドワーク 蚊の生態・防蚊対 策 蚊の捕集 (沢辺京子)	

講師一覧（予定）



- 西條政幸（国立感染症研究所 ウイルス第一部 部長）
高崎智彦（神奈川県衛生研究所 所長）
安藤秀二（国立感染症研究所 ウイルス第一部 第五室室長）
沢辺京子（国立感染症研究所 昆虫医科学部 部長）
川端寛樹（国立感染症研究所 細菌第一部 第四室長）
多屋馨子（国立感染症研究所 感染症疫学センター）
小泉信夫（国立感染症研究所 細菌第一部）
永宗喜三郎（国立感染症研究所 寄生動物部）
岩城正昭（国立感染症研究所 細菌第二部 第三室）
嶋田 聡（厚生労働省健康局結核感染症課）
狩野繁之（国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部 部長）
忽那賢志（国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室 医長）
氏家無限（国立国際医療研究センター 国際感染症センター トラベルクリニック 医長）
田村 豊（酪農学園大学動物薬教育センター 教授）
梅田恭子（横浜検疫所検疫衛生課）
加藤康幸（国際医療福祉大学 医学部 感染症学 教授）
馳 亮太（成田赤十字病院 感染症科 部長）
川名明彦（防衛医科大学校 感染症・呼吸器内科 教授）
大橋典男（静岡県立大学 食品栄養科学部食品生命科学科 教授）
三崎貴子（川崎市健康安全研究所）
倉井華子（静岡がんセンター 感染症科 部長）
未定（アース製薬）

WEB申し込み：<http://uou1.net/S4FH>



受講料：無料

(ただし宿泊費および研修中の食費・移動費・教材費などの実費は除く)

募集人数：10名

お問い合わせ窓口：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター

住所：〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL: 03-3202-7181(代表)

E-mail : skutsuna@hosp.ncgm.go.jp

アクセス:国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

都営大江戸線若松河田駅より徒歩5分

東京メトロ東西線早稲田駅より徒歩 15 分

